

# 平成29年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：健康長寿課  
 担当名：健康長寿担当、健康増進・食育担当  
 内線：3663 (単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業		
B36	健康長寿埼玉モデル普及事業		一般会計	衛生費	公衆衛生費	公衆衛生総務費	健康長寿埼玉推進事業費		
事業期間	平成27年度～平成32年度	根拠法令	健康増進法第3条		宣言項目	02 健康・医療・介護の安心確保			
					分野施策	010204 生涯を通じた健康の確保			
<b>1 事業の概要</b> 県民、民間団体、市町村、県などが一体となって、誰もが、毎日を健康で、生き生きと暮らすことのできる「健康長寿社会」を目指す。 そこで「健康長寿埼玉プロジェクト」を通して構築した「健康長寿埼玉モデル」を県内市町村に普及させるなど、健康寿命の延伸と医療費抑制を実現する。  (1) 健康長寿埼玉モデル普及促進事業 △25,050千円 (2) 健康長寿埼玉サポーター事業 △5,625千円 (3) 埼玉県コバトン健康マイレージ事業 △6,689千円 繰入金の追加等による財源更生 経費節約等による減額			<b>5 事業説明</b> (1) 事業内容 ア 市町村の「健康長寿埼玉モデル」導入支援 226,800千円 (7) 「健康長寿埼玉モデル」を導入する市町村に対し、初期費用等を補助するとともに円滑な事業運営のための支援を行う。 【参考】平成28年度「健康長寿埼玉モデル」実施市町村 とことんモデル 5市町、埼玉モデル2年目 15市町、埼玉モデル1年目 9市町村 イ 健康長寿埼玉サポーター事業 6,578千円 (7) 市町村に対して健康長寿サポーターの養成を支援するための補助金を交付 (4) サポーターの活動促進 ・特に意欲のあるサポーターをスーパーサポーターに認定し活用 ・サポーター応援ブック作成 (7) 事業所を対象としたサポーター養成 ウ 埼玉県コバトン健康マイレージ事業 145,207千円 (7) 健康マイレージ運営費 (4) 健康マイレージの普及拡大 (7) 日本スリーデーマーチ補助金 (2) 事業計画 ア 健康長寿埼玉モデル導入市町村への補助金交付（平成27年度～31年度） 平成29年度 新規5市町、埼玉モデルからとことんモデルへの移行1町 イ 健康長寿サポーター養成（平成27年度～32年度） 平成32年度までに75,000人のサポーターを養成し、草の根レベルで健康づくりを広める ウ 埼玉県コバトン健康マイレージ事業 平成31年度までに40万人参加 (3) 事業効果 ・健康寿命の延伸 平成24年度：男性16.8年、女性19.8年→平成28年度：男性17.3年、女性20.0年 サポーター養成人数 67,080人（平成29年12月31日現在） (4) 補正予算の概要 ア 繰入金の追加等による歳入の変更 イ 経費節約等による歳出の減額						
<b>2 事業主体及び負担区分</b> (1) (県10/10) …とことん (県4/5・市町村1/5)1年目、(県1/2・市町村1/2)2年目、 (県1/3・市町村2/3)3年目 (2) (県10/10) (3) 県(10/10)									
<b>3 地方財政措置の状況</b> なし									
<b>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</b> 増員1人 9,500千円×7.5人=71,250千円									
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△37,364	繰入金	10,000	諸収入	△1,924			△45,440	378,585
現計額	415,949			20,396				395,553	